

For More Safety

医療関係者用

GnRHアゴニスト ゾラデックス® 1.8mgデポ

投与マニュアル
— 適切な投与部位と投与方法 —



ゾラデックス® 1.8mgデポのご使用に際しては添付文書をご参照下さい。

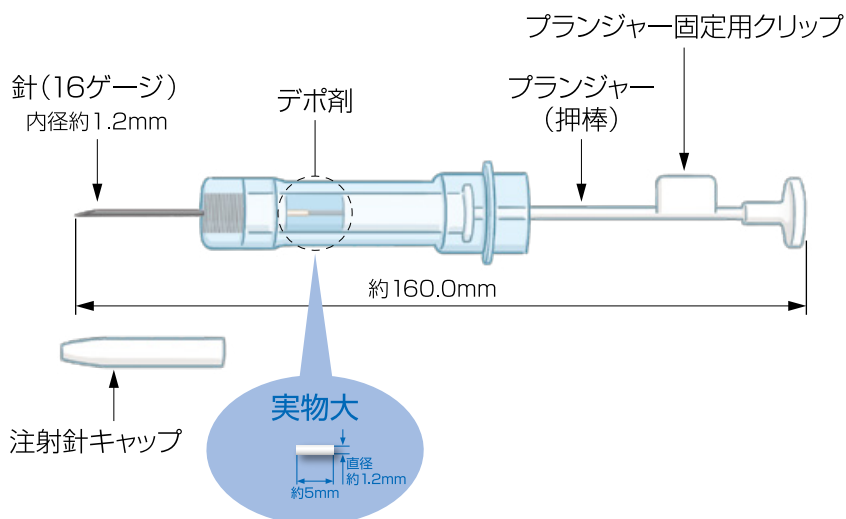
はじめに

ゾラデックス® 1.8mgデポは、GnRH(視床下部ゴナドトロピン放出ホルモン)受容体を持続的に刺激することで、受容体のダウンレギュレーションを起こし、LH(黄体形成ホルモン)、FSH(卵胞刺激ホルモン)の分泌を低下させます。その結果、卵巣からのエストロゲンの分泌を抑制し、子宮内膜症に対して効果を示します。

本剤は取り出してすぐに投与ができ(Ready to Use)、針刺し・切創防止機能(Safe System)が付くなど、さまざまな工夫が施されています。

正しくより安全に投与いただけるよう、本書をよくお読み下さい。

ゾラデックス® 1.8mgデポの各部名称と特徴

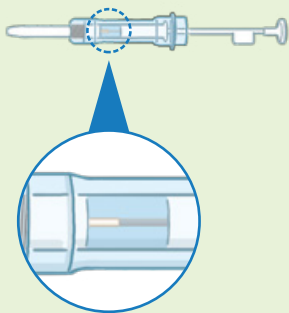


ゾラデックスの投与準備

ゾラデックスは、薬剤開封から投与までの調製作業が少なくなるよう工夫された製剤です。(所要時間：平均で1.7分(海外データ)*)
ゾラデックスは皮下埋入型の固形薬剤(デポ剤)ですので、液漏れがなく、毎回同じ量(全量)を投与することができます。

Step 1

デポ剤の確認



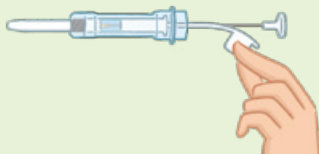
内袋(アルミパウチ)から滅菌済みの注入器を取り出します。注入器の透明箇所の中にデポ剤があることを確認します。



アルミパウチから注入器を取り出す際は、開封部を十分広げた上でプランジャーを引っ張らずに慎重に取り出してください。デポ剤はシリンジ内で移動するため、確認し難いことがあります。

Step 2

クリップの取り外し



プランジャー(押棒)を固定しているクリップを外した後に、注射針キャップを外します。これで投与準備は完了です。



Step 3

注射針キャップの取り外し



この時に、プランジャーを押ししたり、引っ張って抜いたり、指で弾いたりしないでください。空気抜きのためは必要ありません。

ゾラデックスの投与

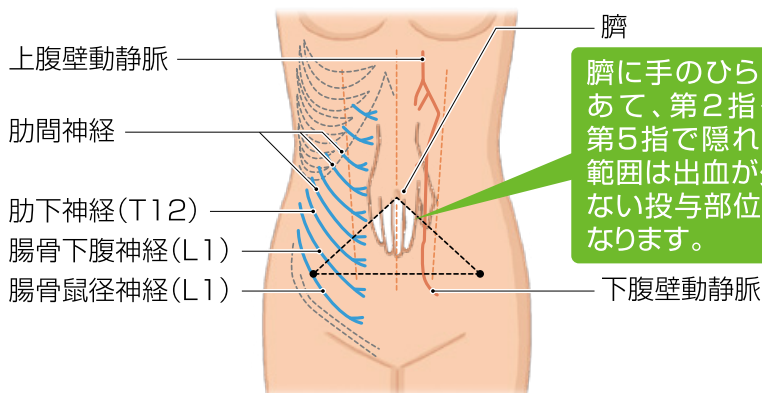
投与部位

指の付け根を臍の上に置いて手のひらを当てたとき、第2指～第5指で隠れる範囲は出血が少ない投与部位となります。また、手のひらの外側では、疼痛が強くなるため投与部位としては避けた方がよいでしょう。

下腹部皮下注射の際には下腹壁動静脈や浅腹壁動・静脈を損傷しないように、腹膜腔穿刺について説明されている下記の考え方を参考にしましょう。

これらの動静脈は臍と上前腸骨棘とを結ぶ線の内1/3と中1/3との境界点を通るので、穿刺は一般的にこの線の中点、あるいは外1/3と中1/3の境、あるいは正中線上で臍と恥骨結合のほぼ中間で行われる。

伊藤隆(著), 高野廣子(改訂): 解剖学講義 改訂第2版・337, 南山堂, 2006



臍に手のひらをあて、第2指～第5指で隠れる範囲は出血が少ない投与部位となります。

Point!

同一部位への反復投与は行わず、投与部位は毎回変更してください。ただし、虫垂切除などの術創がある場合は皮下の血管の可動性が悪いため、術創とは反対側を投与部位に選んでください。毎回同じ側に投与するため、投与する位置をずらしていくと良いでしょう。前回の投与箇所硬結などが見られた場合は医師に相談するようにしてください。

穿刺と投与

針の切り口を上に向け
向けます。

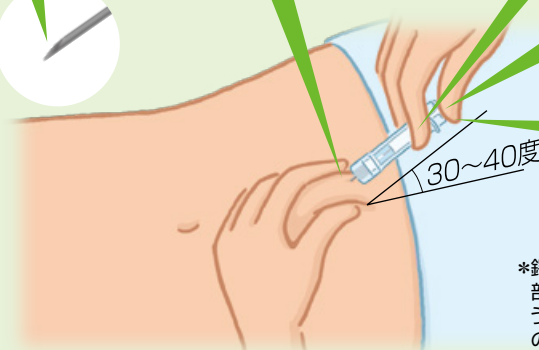


針を根元近くまで
速やかに刺入します。

注射器本体の根元*を
指で挟んで持ちます。

シリンジを立て過ぎ
ないようにします。

プランジャーを
最後までしっかり
押し込みます。



*鐳のある部分：ここより針に近い部分を持つとSafe Systemがうまく作動しないことがありますのでご注意ください。

まず、投与部位を十分に消毒します。

腹筋や腹膜に針先が達しないように注射部位を軽くつまみます。そして、皮下にデポ剤を確実に注射するために、皮膚面に対しておよそ30～40度の角度で針の切り口を上に向けて、針を根元近くまで速やかに刺入します。

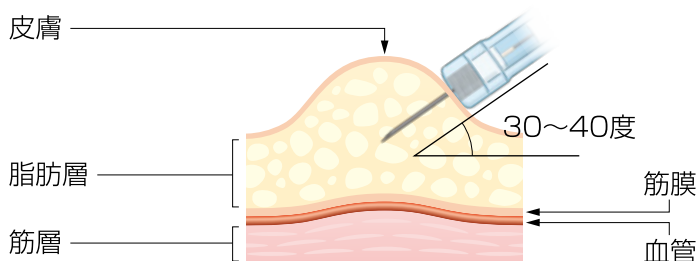
プランジャーを最後までしっかりと押し込み、デポを注入します。

投与後と同時にSafe Systemが作動し、注射針をカバーが覆います。

投与時の痛みを和らげる工夫

穿刺部位の皮膚をつまみ上げると痛みが少なくなります。

つまみ上げた皮下の断面図



投与後の処置

投与後は止血していることを確認し、投与部位を滅菌テープなどで保護します。投与部位に内出血を起こすことがあるため、しっかりと圧迫止血を行います(1~2分間くらいを目安に)。

投与部位の止血の確認、保護



投与後、投与部位が止血していることを確認し、滅菌テープなどで保護します。

圧迫止血の方法

1~2分間を目安に、圧迫止血を行います。



①注射針を穿刺した筒所に絆創膏を貼ります。



②俵状にしたガーゼをのせます。



③伸縮性の絆創膏で固定します。

<参考>多めの出血を認めた場合の処置方法

穿刺部位からの大量出血を認めた場合は動脈損傷を推測し、損傷した動脈の血液供給源である注射部位側の浅腹壁動脈(鼠径部)を圧迫して止血を試みます。また、このようなときはすぐに医師に連絡し、サポートしてもらってください。

患者さんへの指導

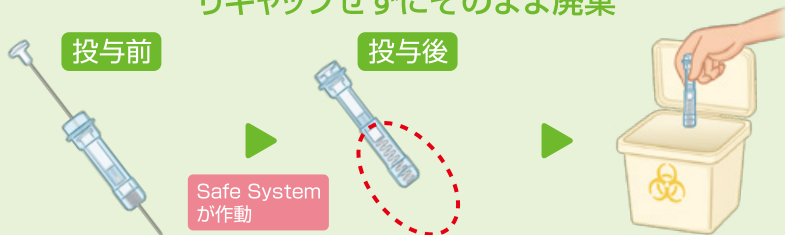
投与後の出血を予防するために、患者さんに下記の項目を指導してください。

- ① 注射部位を揉まないでください。
- ② 投与当日は腹部を激しく動かさないでください。
- ③ 腹圧をかけないでください。
- ④ 投与後、出血が止まらない場合は、病院に連絡してください。
- ⑤ 投与部位が少し硬くなることがあります。ベルトなど、締め付けるようなものは控えてください。
- ⑥ 投与後1週間以上経過しても、投与部位に痛みやかゆみ・発赤がある場合は、病院に連絡してください。

ゾラデックスの廃棄

ゾラデックスは「Safe System」と呼ばれる安全装置を備え付けています。ゾラデックスSafe Systemはプランジャーをしっかりと押し込むことで作動し、針先を覆うため、リキャップすることなくそのまま廃棄できます。

リキャップせずにそのまま廃棄



プランジャーを最後までしっかりと押し込むことで、自動的に注射針がカバーで覆われます。



注射針カバーが十分に作動しない場合には、針刺し切創に注意しながら患者さんから注射針を抜き、安全な方法で処理してください。注射針カバーが作動しない場合でもデポ剤の注入は完了しています。

ゾラデックス1.8mgデポ使用方法の動画を、
下記QRコード、もしくはQRコード下にある
URLからご覧いただけます。



<http://www.kissei.co.jp/zoladex1.8/>

販売元



キッセイ薬品工業株式会社

松本市芳野19番48号 <http://www.kissei.co.jp>
資料請求先：くすり相談センター 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号

TEL：03-3279-2304
フリーダイヤル：0120-007-622

製造販売元

アストラゼネカ株式会社

大阪市北区大深町3番1号

2011年3月作成
2020年9月改訂
ZD004A